

## 日本堆積学会 2021年オンライン大会 プログラム

【日時】 2021年11月13日(土)、14日(日)

13日(土)：個人講演、特別講演、懇親会

14日(日)：個人講演、優秀講演賞授賞式、堆積学トーク・トーク

【実施形態】 主にZoomを使用したオンライン開催

### 【大会プログラム】

#### 11月13日(土)

10:00-10:05 会長挨拶 池原 研

#### <口頭発表>

- O1 10:05-10:20 年縞から見積もられる石筍の季節的成長速度  
石原与四郎(福岡大)・大西由梨(応用地質)・  
吉村和久(九州大)
- O2 10:20-10:35 鹿児島県喜界島の異なる地質時代のコケムシ質堆積物  
松田博貴・林田将英(熊本大)
- O3 10:35-10:50 2次元浅水流混濁流モデルにおける乱流運動エネルギー効果の影響  
藤島誠也・成瀬 元(京都大)
- O4 10:50-11:05 CNNを応用した粒子配列解析による多重逆級化構造の形成メカニズム解明  
長門 巧・成瀬 元(京都大)

休憩(11:05-11:15)

#### <フリーポスター発表ショートトーク：P1-8> 11:15-12:05

1件あたりの講演は5分以内とします。

昼休み(12:05-13:00)

#### <フリーポスター発表コアタイム> 13:00-15:00

- P1 新潟県八石背斜東翼における鮮新・更新統の堆積システムと陸棚へ前進する堆積シーケンス  
田中綾香・保柳康一(信州大)
- P2 北部フォッサマグナ高府向斜西翼地域における新第三系小川層・柵層の堆積システムおよび堆積シーケンス  
近藤広大・保柳康一(信州大)

- P3 微動データに基づいた東京湾岸地域における沖積層の物性境界  
小松原純子・長 郁夫・坂田健太郎・中澤 努（産総研）
- P4 サージ的混濁流により実験水路に形成されたサイクリックステップの粒度分布  
横川美和・藤田和典・森 勇（大工大）・  
Roberto Fernandez（ハル大学）・Matt Czapiga（デルフト工科大学）・  
John Berens・Jeffrey Kwang・内藤健介・Gary Parker（イリノイ大学）・  
泉 典洋（北大）・成瀬 元（京都大）
- P5 岩盤河川地形の示す日本列島第四紀の地殻隆起速度の時空分布：岩盤強度を考慮したベイズ推定 【発表者からの申請により P5 のコアタイムは 14 日になります】  
成瀬 元（京都大）
- P6 光ルミネッセンス (OSL) を用いた河川における泥粒子の供給源推定  
横尾健人（東京大）・田村 亨（産総研）
- P7 東京湾沿岸水域における湧出ガスの起源推定と湧出量の調査  
布留川 竜・松田溪登・鶴 哲郎（東京海洋大）
- P8 混濁流・土石流ハイブリッド堆積物の形成プロセス -機械学習技術を用いた粒子配列解析に基づく検討-  
田中凌悟・成瀬 元（京都大）

休憩（15:00-15:10）

<口頭発表>

- O5 15:10-15:25 堆積シーケンス，海水準変動と構造運動の関係，新潟県東頸城丘陵北東部における更新統魚沼層群の例  
河西夏美・保柳康一（信州大）
- O6 15:25-15:40 北海道むかわ地域の二風谷・荷葉層の堆積システムおよび古環境  
朝日啓泰・沢田 研（北海道大）
- O7 15:40-15:55 セマンティックセグメンテーションを用いたコア画像からの生痕化石の抽出  
菊地一輝・成瀬 元（京都大）
- O8 15:55-16:10 水路実験による 2019 年千曲川氾濫での破堤堆積物形成過程の解明  
加藤汰一・山田昌樹（信州大）・  
成瀬 元・酒井佑一（京都大）

休憩（16:10-16:20）

<口頭発表>

- O9 16:20-16:35 化学的アプローチによる視認困難な津波痕跡の識別  
篠崎鉄哉・澤井祐紀（産総研）・  
池原 実（高知大）・松本 弾・  
嶋田侑眞・谷川晃一郎（産総研）・  
田村 亨（産総研・東大）
- O10 16:35-16:50 石垣島カラダギ洞穴に認められる津波堆積物の特徴  
石原与四郎・沖田優香・北原美優（福岡大）・  
成瀬 元（京都大）・亀島慎吾・  
具志堅清大・片桐千亜紀（沖縄県立埋蔵文化財センター）・  
山極海嗣（琉球大）・小野林太郎（国立民族学博物館）・  
島袋綾野（石垣市）・吉村和久（九州大）
- O11 16:50-17:05 津波による石灰質サンゴ礁堆積物の海底谷を通じた深海への輸送  
池原 研（産総研）・金松敏也（JAMSTEC）・  
宇佐見和子（日本エヌ・ユー・エス・JOGMEC）
- O12 17:05-17:20 中新統田辺層群白浜層の堆積環境変遷と津波堆積物  
石塚創太（筑波大）

休憩（17:20-17:30）

<特別講演>

- OP1 17:30-18:15 フィールド・セディメントロジーへの招待 (Introduction to field sedimentology)  
保柳康一（信州大）

<懇親会> 18:30-20:30 オンライン

11月14日（日）

<口頭発表>

- O13 10:00-10:15 秋田沖日本海の新礁（堆）における最終氷期以降の沈降運動  
荒戸裕之・山崎 誠（秋田大）
- O14 10:15-10:30 Detrital Zircon U-Pb ages of the Nemuro and Urahoro Groups in the Nemuro Belt Complex, Eastern Hokkaido, Japan: Implications for the provenance and tectonic setting of the Paleo-Kuril Arc System  
Harisma・Hajime Naruse (Kyoto University)・  
Takafumi Hirata・Hisashi Asanuma (The University of Tokyo)

O15 10:30-10:45 関東平野東縁における最終間氷期海成段丘の再考

田村 亨 (産総研・東京大) ・岡崎浩子 (千葉県中央博) ・  
中里裕臣 (農研機構) ・納谷友規・中島 礼 (産総研)

休憩 (10:45-10:55)

<フリーポスター発表ショートトーク : P9-16> 10:55-11:45

1件あたりの講演は5分以内とします。

昼休み (11:45-12:40)

<フリーポスター発表コアタイム> 12:40-14:40

P9 石垣島東部白保地区でのイベント堆積物調査

田中姿郎・吉井 匠 (電力中央研究所)

P10 約300年前の宝永地震により静岡県安倍川上流域で形成されたハイパーコンセントレイ  
テッド流堆積物の特徴

白井正明 (都立大) ・宇津川喬子 (立正大)

P11 Depositional setup and characteristics of storm deposits following the 2007 Cyclone Sidr on  
Kuakata coast of Bangladesh

Md. Masidul Haque ・Masaki Yamada ・  
Koichi Hoyanagi (Shinshu University)

P12 モンゴル国南東部に分布する古第三系 Ergilin Dzo 層の古地磁気学的研究

坂本航汰・畠山唯弘・北原 優・

實吉玄貴 (岡山理大) ・Khishigjav Tsogtbaatar (IPG)

P13 急激な堆積作用による未固結堆積物の液状化・流動化変形：水槽実験による検討

加藤義之・山口直文 (茨城大)

P14 北海道霧多布湿原の地殻変動に関連した浜堤の堆積構造

根来湧輝 (東京大・産総研) ・田村 亨 (産総研・東京大) ・

澤井祐紀・谷川晃一郎・嶋田侑眞 (産総研) ・

岡田里奈 (弘前大・産総研)

P15 柱状図・地質断面図を三次元表示：簡単変換ツールの紹介

佐藤智之 (産総研)

P16 九十九里浜平野の浜堤および現世海浜堆積物のOSL年代測定

小森康太郎 (東京大) ・田村 亨 (産総研・東京大) ・

堀 和明 (東北大)

<優秀講演賞授賞式> 14:40-14:50

<事務連絡・閉会挨拶> 14:50-14:55

<堆積学トーク・トーク> 15:10-17:00

「堆積学研究・教育の将来とオンライン・デジタルツールの可能性（仮）」

### 【注意事項】

最新の注意事項や詳細については、後日ご連絡いたします参加者用のポータルサイトにてご確認ください。

### <オンラインでの参加>

- \*全ての講演は Zoom を使用して行います。必ず事前に最新のバージョンにアップデートを行ってご参加ください（バージョン 5.3 以降でなければブレイクアウトルームを自分で選択できません）。
- \*URL より Zoom 会場に入室される際には、事前にご連絡します参加者番号を名前の最初にご記入頂ますようお願いいたします。（例）S001 堆積太郎

### <口頭発表>

- \*発表時間は 15 分（質疑応答込み。目安として発表 12 分，質疑応答 3 分）です。
- \*各自 PC から Zoom で画面共有にて発表していただきます。
- \*今回はタイムキーパーを置きません。各自タイマーを用意するなど時間管理をお願いいたします。
- \*当日の開会前に接続テストの時間を設ける予定です。

### <フリーポスター発表>

- \*各講演について、5 分間のショートトークとコアタイムを設けます。
- \*ショートトークの 5 分間で研究の概要をご説明いただき、コアタイムでは主に内容についての議論の場としてご活用いただければと思います。
- \*フリーポスターは各講演 1 ファイルで 25MB までの PDF あるいは画像ファイル（形式自由）で、その他の制約はありません。各自でぜひ工夫してください。
- \*ショートトーク用に、各自 5 ページまでのスライド（PDF，画面比 4:3）を事前にご提出いただけます。
- \*コアタイムでは、Zoom のブレイクアウトルームによって講演ごとの部屋を設定するので、参加者は自由に出入りできる状態で発表していただきます。
- \*またコアタイムでは、参加者閲覧用として事前にご提出いただく「フリーポスター」のファイルとは別に、スライド等（形式自由）を共有してご説明いただくことも可能です。
- \*ポスター発表者の皆様も他の発表を見られるようにするため、発表時間を分ける予定です。

\*各種提出締め切りは以下のようになります.

- ・フリーポスター：11/10（水）
- ・ショートトークスライド：11/10（水）

なお提出先は講演要旨と同じconference(at)sediment.jpです（(at)を@に変えてください）